

平成28年7月

なばり市議会だより

No.
81

市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ● 三重県名張市鴻之台1・1 ☎ 63-7834 FAX 64-8870 ✉ gikai@city.nabari.mie.jp



「よってだぁ〜こ名酒で乾杯協議会」は毎月1日に開催する乾杯イベントを通じてお酒の消費拡大を目指しています

名張のものづくり

を応援していきます

自慢と誇り！議員提案で2つの条例を制定

名張市ものづくり基本条例

伊賀焼などの伝統工芸や、伊賀米・ぶどうなどの農産品づくり、伊賀牛・酒・かたやきなどの食の産業、高品質な製品を国内外に提供する製造業などの産業が名張の発展を支えてきました。

そのことから、事業者・産業関係団体・高等教育機関・金融機関・市民および市が協働し、担い手や事業者が活動・成長しやすい環境を作ることによって伝統工芸・食の産業・製造業などものづくり産業をさらに発展させ、市の健全かつ持続的な発展に寄与し、豊かで活力ある地域社会を実現するために、ものづくり基本条例を平成28年3月に制定しました。

伊賀名張の酒・名酒で乾杯を推進する条例

名張市は自然に恵まれた農山村地帯が広がる地域であり、豊かな自然環境の下で生産される食料を基本に生活を営む中で、恵まれた風土を生かした酒造りが盛んに行われてきました。

そこで、古来の食文化とともに歩んできた名張の伝統的な産業や

酒文化を守り、育み、地域文化の発展へと繋ぐため、市・事業者・各種団体及び市民がそれぞれの役割を果たし、名張の酒・名酒による乾杯の普及を推進し、市の経済の振興及び地域文化の発展を図るために伊賀名張の酒・名酒で乾杯を推進する条例を平成25年12月に制定しました。



それに伴って発足した「よってだぁ〜こ名酒で乾杯協議会」が、「毎月朔日(ついたち)を名酒で乾杯の日」として、名張で生まれたお酒の消費拡大を目指しています。5月26日・27日に開催された伊勢志摩サミットの会食では名張のお酒が3銘柄使われるという快挙により今までになく消費も伸びています。この勢いを絶やすことなく、これからも市議会では地元のものづくりを応援していきます。

平成28年6月定例会

6月定例会(第371回)は、6月10日開会、6月28日閉会の19日間の日程で行いました。

提出された議案は、条例制定1件、条例改正1件、一般議案1件、平成28年度一般会計の補正予算1件、専決処分にかかる報告2件、意見書提出にかかる議員提出議案1件です。これらの議案は本会議、常任委員会で審議し、7議案を可決・承認しました。3日間の一般質問では、8議員が登壇し市政全般にわたる質問を行いました。

補正予算

補正予算は、一般会計で歳入歳出予算の総額にそれぞれ7000万円を追加し、歳入歳出予算の総額は264億4500万円となりました。



Q & A

8議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。
掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

一般質問

● 行政

公明党

吉住 美智子 議員



Q 投票率向上

公職選挙法の改正により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、7月10日投票の参議院選挙から適用になる。自治体の判断で、期日前投票時間の延長や、駅前投票時間などの「共通投票所」を開設できる。投票率向上に向けた取り組みを問う。

A 期日前投票時間延長

期日前投票期間内の5日間、投票終了時間を1時間延長し、市外への通勤、就学者などに対する投票機会を拡大する。「共通投票所」については、二重投票を防ぐためのオンラインシステム整備が間に合わず開設できない。若者の社会参加への意識および投票率の向上のため、調査・研究していく。



清風クラブ

常俊 朋子 議員



Q 市史編さん事業

市史編さん事業に関して、機構改革による担当部署の変更と事務所移転の経緯、市史だよりの発行について問う。



A 創意工夫で発行

市史編さん業務については組織機構の見直しで、専門分野の知識を持った職員の効果的な配置が可能となり、業務推進の効率化、財政負担の軽減を図ることができるとの考え方に基つき教育委員会文化財部門と統合した。

市史だよりは、民俗部会・中世部会の2つの専門部会で次の発行に向けて準備している。

無会派

浦崎 陽介 議員



Q 地域手当3%是非

職員給料などに3%加算されている地域手当は総額1億3千万円になる。国家公務員の制度であり支給についての決定に際しては、地域の実情や財政状況など考慮し地域住民の理解が必要だと総務省は示している。本年4月から財政難を理由に増税を行った。住民の理解が得られるのか。今後の財政の立て直しのため見直しをすべきだ。



A 国の動向を注視する

地域手当は国家公務員の給料削減時に支給が始まった。国の基準に沿って支給を行って。総務省の検討委員会の報告書で地域の実情を分析し研究を行うべきだとある。国の動向を注視していく。

● 教育

日本共産党

三原 淳子 議員



Q 学校規模配置適正化

教育委員会は、小・中学校の規模配置の適正化後期実施計画の住民説明会を行った。計画策定にあたって地域、保護者、学校との協議が行われていない。4小学校・1中学校の廃校と同時に校区再編もあり驚きと反対の声が上がっている。地域では、学校と子どもたちを支えるまちづくりが進められ、学校規模も子どもたちにとって不都合はなく、落ち着いた学習環境である。後期実施計画はあくまでも案であり、一から住民とともに協議することを求める。



適正化後期実施計画についての説明会

A 十分な協議をする

すべてを白紙撤回はできないが、理解してもらえない計画となるよう、十分な協議をしている。

●教育

心風会

幸松 孝太郎 議員



Q 英語教育の目標設定

グローバル人材の育成のためには、中学校の英語教育に生徒や教員の目標設定が必要だ。



A 英語力の向上に有効

国は平成29年度までに50%の生徒が中学校卒業段階で英検3級程度以上の目標を設定。市では、中学校卒業段階での英検レベルを設定していないが、設定しているか否かで英語力の数値に大きな差があることから、個々の実力に応じた目標級を設定を促すことが有効であると考え。また、中学校英語教員には、英検準1級以上、TOEFL(※)80点以上の英語力が求められているため、国の調査官等を講師とした研修などを通して、向上を目指していきたい。

無会派

柏元三 議員



Q 小規模校の欠点とは

小規模校には「切磋琢磨ができない」「クラス替えができない」など、統合して適正規模にしなければ解決できない重大なデメリットがあるとしている。小学生に不可欠な切磋琢磨とはどのようなものか。クラス替えができないことがどれほどのデメリットになるか。具体的に説明せよ。



A 目指す教育でできず

約20人の学級で国語の授業を参観したが、先生の目指す答えが出なかった。先生の話によると、人間関係ができていて、ある児童が答えると、それ以上のことを考えようとしないう。長い間一緒にいると、大きく広がってこないことが多い。

●医療・救急

清風クラブ

森岡 秀之 議員



Q 救急救命士の教育

高齢化の進展などにより、救急件数は増加し続け、年間3500件に迫る勢い、重篤な患者も増加。救急救命士の行う医療行為の範囲も拡大、心肺機能停止前の患者への輸液やブドウ糖の投与など技術の向上も必要だ。救急救命士の教育はどのようにしているのか。



A 医療機関と連携

救急救命士は、就業後においても再教育を受けることとされている。2年間で128時間の教育が必要となっており、昨年度の実績では名張市立病院を中心に教育を受け、ほとんどの救急救命士がその教育を修得している。

喜働

足立 淑絵 議員



Q 救急医療情報キット

氏名や緊急連絡先などを記入した用紙を入れた「救急医療情報キット」の利用状況と今後の活用推進予定は。



A 高齢者見守支援推進

一人暮らしや高齢者のみの世帯、日中一人になる高齢者や心身に障害のある人(手帳の有無は問わない)がいる世帯、救急時の対応に不安がある人がいる世帯に無料配布している。キットは災害時でも壊れにくい冷蔵庫内に保管。救急隊員は患者の生年月日や血液型、かかりつけ医や服薬内容など必要な情報を得られ、応急処置や搬送に役立てることができる。昨年度末までに3145世帯に配布し、現在約3500個の在庫がある。高齢者の見守り支援として更に活用させる。

Q&A

その他質疑

清風クラブ

豊岡 千代子 議員



Q 介護ロボット導入

介護従事者の負担を軽減するための事業として介護ロボット導入などに、2003万9千円の補正予算が計上された。どのような機能を備えたものか。導入による効果をどのように考えているのか。

A 市内7事業所へ

日常生活の中での移乗、認知症対策としての見守りなどの支援機能を備えたロボットを市内7事業所へ導入予定。仕事の効率化やサービスの質の向上が期待できる。市としても、導入後の経過を見守っていく。

日本共産党

田北 利治 議員



Q 放課後児童クラブ

桔梗が丘小学校の放課後児童クラブは、1年生から3年生が多く利用している。保護者が共働きでも安心して預かってもらえる放課後児童クラブはどうしても必要である。待機児童解消のための増設プレハブはいつ頃設置予定か。

A 冬休みまでには設置

現在、定員オーバーで利用できない児童には空き状況を見て、臨時的に利用してもらっている。30人が収容できる平屋建て50平方メートルのプレハブを冬休みには使えるように設置したい。

第371回定例会 審議結果

全会一致
議案

▼入札等監視委員会設置条例の制定 ▼平成28年度一般会計補正予算(第1号) ▼財産の取得 ▼(議員提出議案)次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出

表決が
分かれた
議案等

①市税条例等の一部改正

②柏議員に対する反省を求める動議

(議長は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員)

会派		無会派		喜働		日本共産党		心風会			公明党			清風クラブ					
議員名	山下	柏	浦嶋	足立	川合	田北	三原	幸松	永岡	柳生	阪本	富田	細矢	吉住	常俊	森岡	豊岡	吉田	福田
①	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	×	※	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※除斥(本人に関する案件のため退席し採決に加わりません)

市議会議員の政務活動報告が事前手続き不要
でいつでもご覧いただけるようになりました

平成27年度分の収支報告書・活動報告書の写しについては、庁舎1階の行政情報コーナーに設置していますので、情報公開条例に基づく手続きをする必要なく、どなたでも手に取ってご覧いただくことができます。なお、平成26年度以前については、従来どおり情報公開条例に基づく手続きが必要です。

「議会録画中継」パソコンでも!スマホでも!

各定例会の開会から閉会まで、本会議の全日程がCATV(アドバンスコープ203ch)で生中継されています。

また、生中継を見られなかった場合でも、インターネットで録画配信(おおむね1週間後の配信)をご覧いただけます。

議会録画中継をご覧いただくには、名張市議会ホームページ(市ホームページから名張市議会をクリック)の左上パナーをクリックしてください。



議会運営委員会視察報告

視察目的 議会運営、議会改革の取り組みについて
視察先 東京都町田市 埼玉県所沢市 明治大学
視察期間 平成28年5月9日(月)～5月11日(水)



町田市議会では、本会議の2日前までに議案書をホームページにアップ、傍聴席に親子席の設置や賛成・反対の表決の表示を行うなど市民にわかりやすい手法で運営を行っている。

所沢市議会では、議会活動を行わなかった場合の議員報酬停止条例や、平成21年に議会基本条例、平成23年に市議会議員政治倫理条例を制定し、市議会の責務を明確にしている。

明治大学公共政策大学院講師(元全国市議会議長会調査広報部参事)の廣瀬 和彦さんから、閉会中の委員会活動、議会報告会の手法、通年議会のメリット、デメリットなど、議会運営について研修を受けた。

これらの視察を踏まえて、取組みが必要な部分から順次取り組んでいきたい。

市議会の情報はホームページやフェイスブックでも

名張市議会のホームページからアクセスできます。

市議会 HP アドレス <http://www.city.nabari.lg.jp/110/index.html>

また、フェイスブックページでは名張市議会に関する情報を随時掲載しています。

フェイスブックアドレス <https://www.facebook.com/nabarishigikai>

聴覚に障害のある人も手話通訳などを
介して本会議を傍聴していただけます。

手話通訳をご希望の場合7日前までに、
磁気誘導ループ装置の利用をご希望の場合
3日前までに議会事務局にご相談ください。



柳生議員が在職25年の表彰を受けました

柳生大輔議員が市議会議員として25年在職していることから、東海市議会議長会および全国市議会議長会から表彰を受け、6月10日、定例会開会前に議場にて表彰伝達式が行われました。



市議会から熊本地震の義援金を送りました

熊本地震で被害を受けた九州地方の支援のため、名張市議会として九州市議会議長会を通じ義援金20万円を送りました。

6月の議場コンサートは延期しました

出演予定者の都合により議場コンサートは延期となりました。

9月

議会の日程

※予定を変更する場合があります。

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。
全ての本会議(委員会を除く)がCATVで生中継されます。

9月5日(月) 開会	15日(金) 決算特別委員会(一般・特別会計)
8日(木) 一般質問	16日(金) 決算特別委員会(企業会計)
9日(金) 一般質問	20日(火) 総務企画委員会
12日(月) 一般質問	21日(水) 教育民生委員会
13日(火) 補正予算	23日(金) 産業建設委員会
14日(水) 決算	28日(水) 採決
	10月5日(火) 役員改選